

再生医療を安全に

届ける

平成30年
12/2日
岩手県立博物館

開場 13:00～
講演会 13:30～15:50
サイエンストーク 16:00～16:30
定員 140名
サイエンストークは定員20名
対象 高校生～一般
入場無料
館内の展示をご覧になる場合は入館料が必要です
サイエンストークでは、再生医療についての疑問や研究の様子などを講師の先生方に気軽に質問いただけます。講演会参加者ならどなたでも参加できます。

未来の医療、夢の医療といわれてきた「再生医療」ですが、いよいよ実用化が見える段階になってきたと言われていています。しかし、これまでになかった新しい技術の「安全性」や「有効性」はどのように調べることができるのでしょうか。また、インターネットなどで「若返りの効果がある」などといった情報もありますが、どう理解すればよいのでしょうか？
この市民講座では、再生医療研究の現在と同時に社会に安全を届ける「規制科学」という領域をご紹介します、新しい医療技術を社会に届けるための現場をご紹介します。



青井貴之氏
神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科
先端医療学分野 教授

1973年生まれ。1998年神戸大学医学部卒業。2008年京都大学大学院医学研究科博士課程修了、学位取得。
2005年より山中伸弥研究室にてiPS細胞研究に携わり、以後、iPS細胞の基礎および臨床応用に関する研究や関連する規制整備等に従事している。また癌と幹細胞の統合的理解とその臨床への展開も目指しており、2014年7月にはiPS細胞誘導技術を応用した人工的な大腸がん幹細胞作製の成功を発表した。専門は幹細胞生物学、消化器内科学、規制科学。



佐藤陽治氏
国立医療薬品食品衛生研究所
再生・細胞医療製品部 部長

1990年東京大学薬学部卒業。1995年東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了、博士(医学)。
シンシナティ大学医学部にて遺伝子改変動物作製技術を使った心疾患の薬理学・生理学研究に従事。1998年より国立医療薬品食品衛生研究所の職員となり、2012年に同・遺伝子細胞医薬部長。2016年、薬事法改正に伴う組織改編により現職。日本再生医療学会理事(データベース委員長)を兼任。



八代嘉美氏
神奈川県立保健福祉大学
ヘルスイノベーションスクール
設置準備担当 教授

1976年愛知県名古屋市生まれ。名城大学薬学部卒業、東京大学医学系研究科病因・病理学専攻修了、博士(医学)。専門は幹細胞生物学、科学技術社会論。再生医療研究とSF小説などを中心とするポピュラーカルチャーを題材に「文化としての生命科学」の確立を試みている。またメディアを通じた情報発信を行い、社会と協調しながら「生命のありかた」について考える。著書に『iPS細胞 世紀の発見が医療を変える』(平凡社新書)、共著に『再生医療のしくみ』(日本実業出版社)、『死にたくないんですけど iPS細胞は死を克服できるのか』(SB新書)、訳書に『幹細胞-ES細胞・iPS細胞-再生医療-』(岩波書店)などがある。

お問い合わせ



岩手県立博物館
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/

主催 日本再生医療学会・岩手県立博物館